

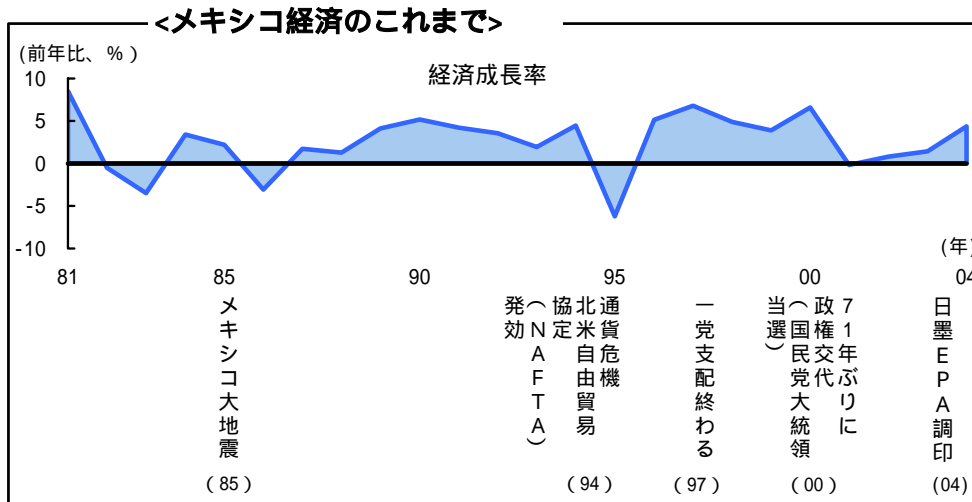
20 メキシコ

United Mexican States

<2004年>

人口 1億346万人(2003年)
(日本の約4/5)
一人当たりGDP 6,051ドル
産業構造(GDP構成比) 1次産業 5.5%
2次産業 24.4%
3次産業 70.1%

財政会計年度 1月～12月
為替制度 変動相場制
通貨 ペソ
1米ドル = 11.286ペソ
面積 196.4万km² (日本の約5倍)



メキシコの主要経済指標

		93～02年	2003年	2004年	2005年			
					政府	O E C D	I M F	民間機関
実質GDP	前年比%	2.7	1.4	4.4	3.8	4.0	3.7	実質GDP
鉱工業生産	同上	2.8	0.2	3.8	-	-	-	平均 3.8
消費者物価	同上	15.6	4.5	4.7	3.0	4.4	4.6	最大 4.4
失業率	%	3.6	3.2	3.7	-	-	-	最小 3.3
経常収支	億米ドル		86	87	142.4	-	98	(26社)
(GDP比)	%		(1.3)	(1.3)	(2.1)	(1.9)	(1.4)	
財政収支	億米ドル		39.3	17.5	-	-	-	
(GDP比, 年度)	%		(0.6)	(0.3)	(0.1)	-	-	
政府債務残高	億米ドル		1,546	1,574	-	-	-	
(GDP比, 年度末)	%		(24.2)	(23.3)	-	-	-	

- (備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF “International Financial Statistics”による。
見通しの政府はメキシコ財務省 “Economic Policy Guidelines for 2005”(2004年9月)等、OECDは “Economic Outlook”(2005年5月)、IMFは “World Economic Outlook”(2005年4月)による。
2. 財政収支は、一般政府。2002年は、農業開発銀行 (Banrural)解散の影響を除いたもの。
3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

<2004～2005年の経済>

2004年は、アメリカの景気拡大の持続を受けて、同国向けが約9割を占める輸出が拡大するとともに、消費を中心に内需も好調であったことから、経済成長率は前年比4.4%と、2000年以来の成長となった。物価はペソ減価の影響もあって、消費者物価上昇率が同4.7%となり、2005年に入っても金融引締めが継続されている。財政収支については、原油高による関連税収の増加から、赤字はGDP比0.3%の政府目標を達成した。

2005年は、アメリカの成長率がやや低下することから、輸出の伸びはやや低下するものの、消費は引き続き堅調に推移するものと見込まれ、3%台後半の成長が予想されている。(政府見直し3.8%(2004年9月)民間機関26社の平均3.8%(2005年5月時点))